

日独整形災害外科学会フェローシッププログラムに参加して

整形外科教室 助教 大保 拓也（2013 年入局）

2024 年 10 月 1 日から 25 日まで、日独整形外科学会災害学会のトラベリングフェローシッププログラムに参加しました。本プログラムでは、まずウィーンで開催されたEUROSPINE 2024に参加し、その後、フランクフルト近郊のSana Klinikum Offenbachおよびアルプスの麓に位置するBG Unfallklinik Murnauの2つの病院で研修を行いました。最終地のベルリンでは、ドイツ整形外科学会（DKOU）に参加し、発表の機会をいただきました。

滞在期間は1か月と短期間ではありましたが、非常に密度の濃い時間を過ごすことができました。ドイツの医療や文化に触れ、ドイツ人医師の方々と交流できたことは大変刺激的でした。フェローシップや学会に参加している日本人医師の方々と話す機会も、私にとって貴重な経験となりました。私が今まで学んできたことや、日常を俯瞰してみることができたこともよかったです。最後に、このような貴重な機会を与えてくださった根尾昌志先生ならびに脊椎班の皆様に、心より感謝申し上げます。



Stefan Hauck 先生とBG Unfallklinik Murnauにて



フェローシップの先生方とDKOU 2024の会場前にて